

- 問1 平安時代、藤原氏が権力を握るために利用した官職のうち、天皇が成人した後に、その事務を総覧し政治を補佐する最高位の役職を何と呼びますか。 (2025年 高知県公立入試 類似)
1. 関白 2. 太政大臣 3. 摂政 4. 内大臣
- 
- 問2 日本の古代政治の変遷を記した年表において、律令に基づく政治のしくみが整えられた時期の次に来る、藤原道長が活躍した「時代の特色」として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 武士が政治の表舞台に現れ、土地の支配をめぐる争いを解決するために幕府を開いた。 2. 実力のある戦国大名が各地を支配し、統一政権を目指して激しい抗争を繰り返した。 3. 位を退いた天皇が上皇となり、摂政や関白を排除して政治の実権を握った。 4. 天皇との親戚関係を背景に、有力な貴族が摂政や関白の職に就いて政治を主導した。
- 
- 問3 平清盛が率いる平氏は、急速な勢力拡大に対して反発した源氏との間で、全国規模の争乱を繰り返しました。平氏が最終的に滅亡した、現在の山口県に位置する戦いの場所として適切なものを答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 富士川 2. 屋島 3. 壇ノ浦 4. 一の谷
- 
- 問4 東北地方に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、鎌倉時代初期に滅亡へと追い込まれた背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 鎌倉幕府を樹立しようとする平清盛の勢力拡大に巻き込まれたため 2. 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため 3. 足利尊氏による新しい政治体制の樹立を拒み、武家勢力の反感を買ったため 4. 自由な商工業を重視する政策が、当時の朝廷が定めた律令制度に違反したため
- 
- 問5 12世紀の日本と諸外国との貿易に関する記録には、ある人物が航路や港を整備して貿易を拡大させたことが記されています。この人物が、武士として初めて就任した最高官職の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 成人後の天皇を補佐する関白 2. 天皇に代わって政治を行う摂政 3. 朝廷の最高機関である太政官のトップである太政大臣 4. 幕府を開くために朝廷から任命される征夷大將軍
- 
- 問6 平安時代、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の「国風文化」が発達しましたが、この時期に貴族が住んでいた、中心となる建物と廊下、池のある庭園などが特徴的な建築様式を何といいますか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 書院造 2. 合掌造 3. 寝殿造 4. 武家造
- 
- 問7 794年に、政治を立て直し、仏教勢力の政治介入を避けるなどの目的で、現在の京都に桓武天皇によって移された都を何といいますか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 平城京 2. 平安京 3. 長岡京 4. 恭仁京
- 
- 問8 国風文化の時期には、かな文字の発達により優れた文学作品が多く書かれました。紀貫之らが天皇の命を受けて編纂した、日本で最初の勅撰和歌集（天皇の命令でまとめられた和歌集）は何ですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 古今和歌集 2. 新古今和歌集 3. 万葉集 4. 懐風藻
- 
- 問9 日本の有形文化財の分類において、奈良県の東大寺の大仏と並び、東北地方の代表的な歴史的建造物として岩手県に現存する中尊寺金色堂があります。この建物を建立し、本拠地である平泉を拠点として12世紀に三代にわたって繁栄した一族を選んでください。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 北条氏 2. 奥州藤原氏 3. 太宰府の官人 4. 平氏
- 
- 問10 保元の乱から平治の乱へと続く一連の動乱が、日本の支配構造に与えた影響を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 全国に守護と地頭が設置されることで、地方武士が守護大名として独立し、幕府を介さない政治が行われた。 2. 軍事力を持つ武士が政治の実権を握るようになり、貴族中心の政治から武士中心の政治へと移行するきっかけとなった。 3. 公家と武士の融和が進んだ結果、武家諸法度が制定されて武士の行動が厳格に制限されるようになった。 4. 天皇の権限が絶対的なものとなり、院政が廃止されて武士は再び地方の警護を専門とする役職に戻った。
- 
- 問11 福島県会津地方の歴史に関する記述の中で、地元の僧・徳一（とくいつ）が教義をめぐる激しい論争を行ったとされる、天台宗の開祖は誰ですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 最澄 2. 日蓮 3. 空海 4. 道元
- 
- 問12 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子が政治の実権を握っていた時期の体制について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 天皇との親戚関係を一切持たず、実力主義で選ばれた官僚たちが合議によって政治を行う律令政治。 2. 自身の娘を天皇の后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。 3. 天皇が位を譲って上皇となり、天皇の父方の親戚として実権を握りながら政治を行う院政。 4. 地方の有力な武士と養子縁組を繰り返し、武力による裏付けをもって朝廷の役職を独占する武家政治。
- 
- 問13 平清盛が行った、自身の政治的・経済的な力を強めるための政策として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。 2. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。 3. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。 4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。
- 
- 問14 白河上皇が院政を開始した背景とその政治的目的について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 摂関家との血縁が薄い後三条天皇の即位により、藤原氏による専制が弱まったことを受け、上皇自らが実権を握ろうとした。 2. 土地の国有化を進める班田収授法が機能しなくなったため、新しい戸籍制度を確立して律令国家を再建しようとした。 3. 仏教勢力の強まりに対抗するため、上皇は出家して法皇となり、寺院の武装化（僧兵）を完全に禁止しようとした。 4. 平氏や源氏といった武士の力が強大になったため、それらを鎮圧するために天皇が退位して軍事権を握ろうとした。